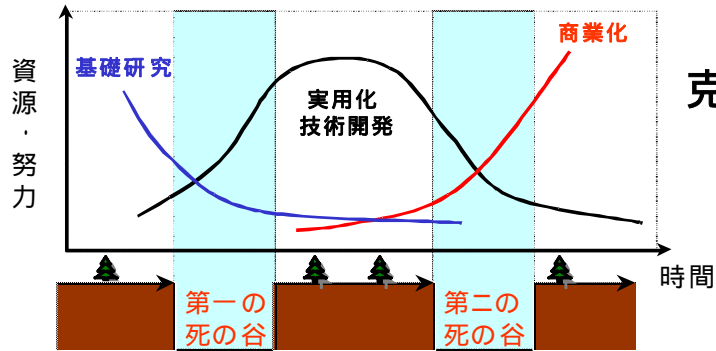


死の谷を越える産学連携に向けて

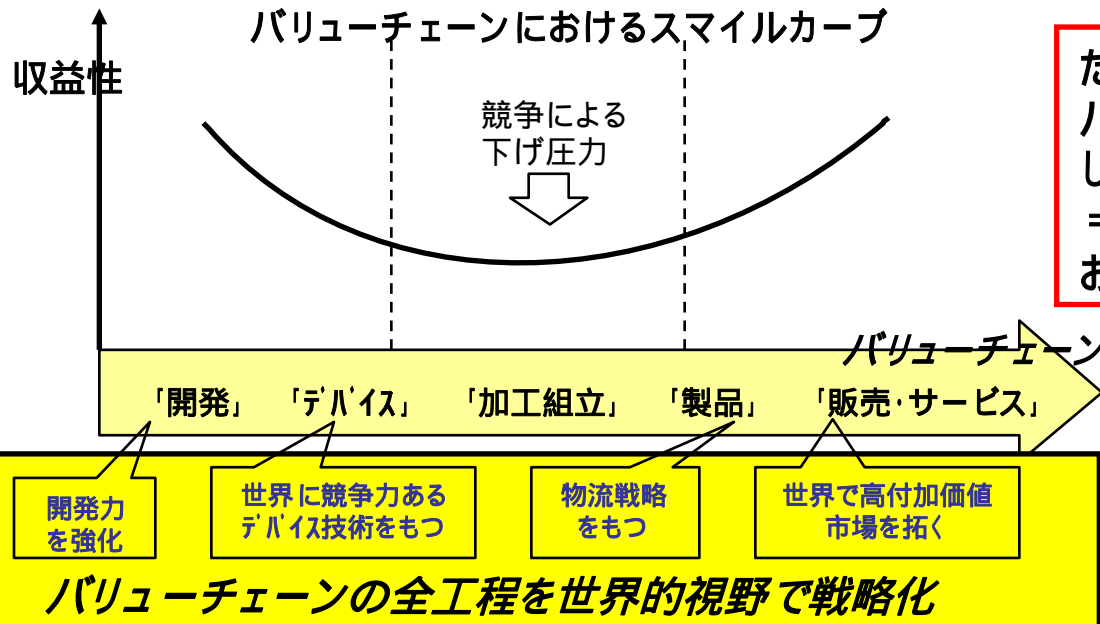
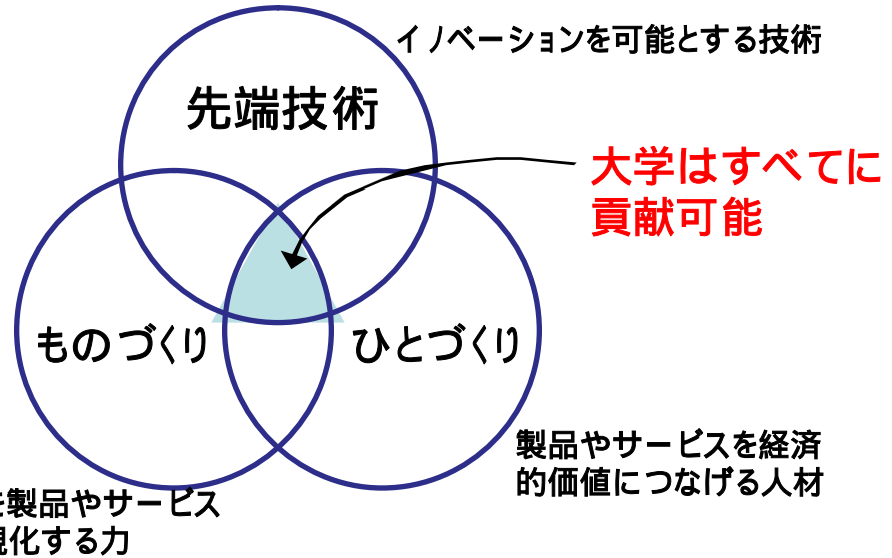
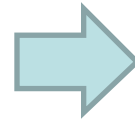
技術の実用化を阻む2つの死の谷



第一の死の谷
 コア技術
 商品力
 全社的ベクトルが合わない
 トップ層のリーダーシップ不足

第二の死の谷
 市場調査が不十分
 性能・信頼性が不十分
 コストが下がらない、他に遅れた

克服のために



たとえば地域産業の高付加価値化に向けてバリューチェーン全体を世界的視野で戦略化しマネジメントできる技術経営人材 = 「世界俯瞰の匠」を育成することが地域における産学連携に不可欠

山形大学プラスチック成形加工研究教育センター計画

機能： 地域の強みを活かした**産官学共同施設**による、新たな**モノづくり**のための基礎・開発研究と実用化、技術者のリカレント教育と高度技術者育成

概要： ナノ構造制御による機能性プラスチック材料と超精密プラスチック加工による、**最先端モノづくりの推進** 大学内に試作・量産ラインを意識した、精密材料加工施設と事業化推進(死の谷克服)と技術者養成

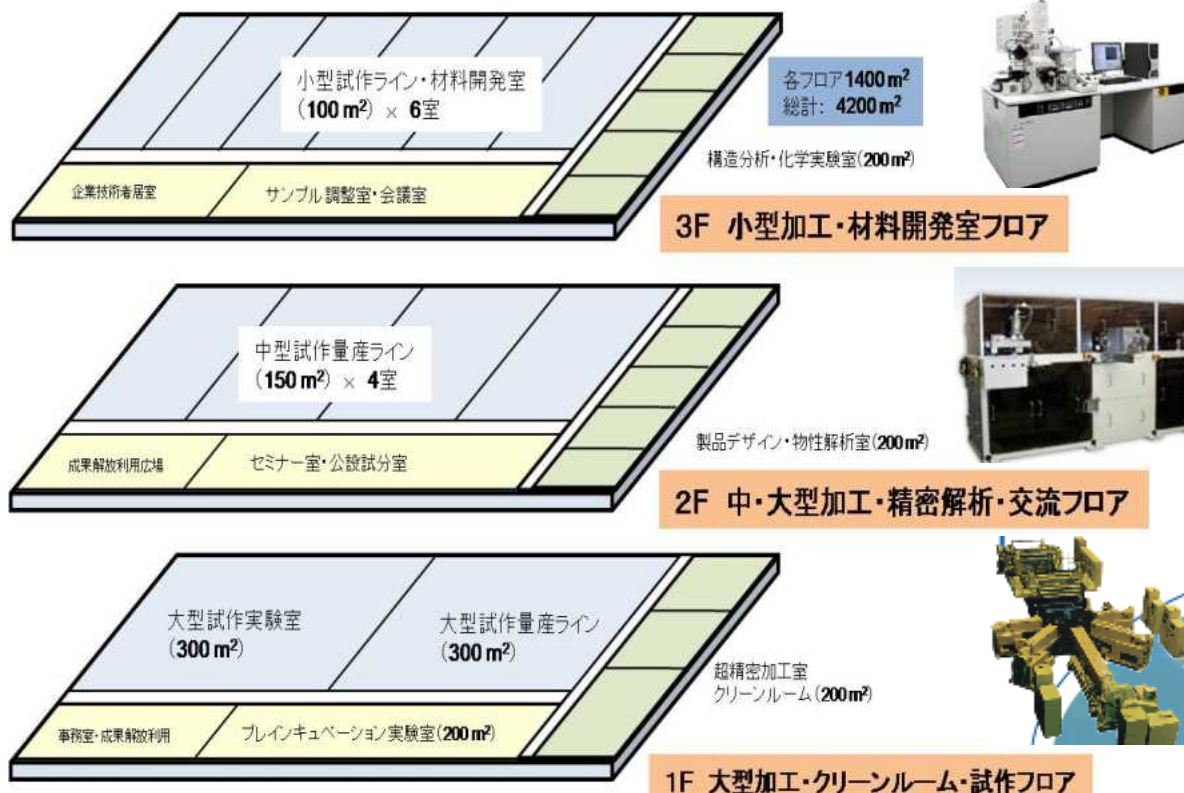
- ✓ **超精密成形加工の推進と高度機能プラスチックの開発**
- ✓ **地域産業に根差した新規生分解性プラスチック開発**
- ✓ **ナノ構造制御とプラスチック加工プロセスの基礎研究**
- ✓ **地元プラスチック加工技術者の国家技能検定の実施とリカレント教育**

地域・地元の企業

自動車部品、精密機器部品、包装材料等の成形・製造によってモノづくりを支えている



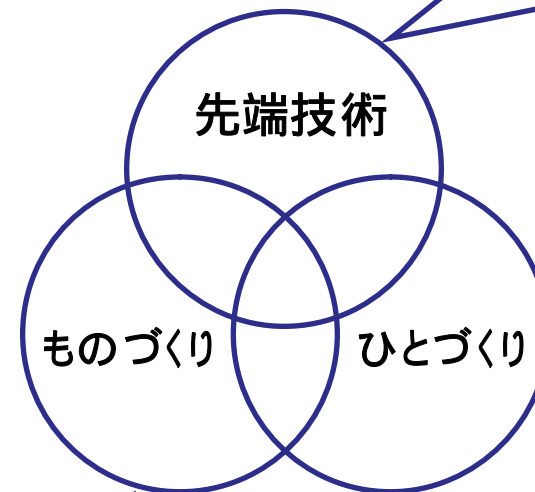
プラスチック超精密加工技術は、次世代の自動車、エレクトロニクス、医療・バイオなどの「**素形材産業**」を形成



産学連携成功のための要因(まとめ)

1. 多様なフィールドの人々の信頼関係
2. スキルと信頼を併せ持つひとづくり
3. 研究とひとづくりを可能とする「場」
4. 地域においては予算にとどまらない行政の当事者意識

国際レベルの有機エレクトロニクス研究拠点



世界をリードできるレベルで地域のものづくり力を高度化する研究教育拠点

グローバルな視野で地域基盤産業を担う経営人材「世界俯瞰の匠」の育成